

授業科目

基礎看護学I

担当教員名 石塚 敏子、長谷川 隆雄	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○

授業の概要

看護を実践するためには心身両面の知識だけでなく、日常生活を営む上において必要な様々な知識を活用し、看護に生かすことが求められる。本授業では、看護に必要な知識を活用し、根拠ある実践ができるための基本的事項を理解する。

授業の目的

対象に必要な看護を根拠に基づいて実践するために必要な日常生活援助の基本的知識を修得する。

学習目標

1. 看護技術の原理・原則である安全・安楽・自立の重要性について述べるができる。
2. 人間の基本的ニーズに応じた日常生活援助技術の適応と効果について述べるができる。
3. 根拠に基づいた看護技術について説明することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	看護技術の原則、ボディメカニクス	講義	石塚 敏子
2	活動	講義	石塚 敏子
3	環境	講義	
4	休息	講義	石塚 敏子
5	清潔	講義	石塚 敏子
6	安楽	講義	石塚 敏子
7	食事	講義	石塚 敏子
8	排泄	講義	石塚 敏子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	系統看護学講座専門分野I, 基礎看護技術II, 基礎看護学3	有田清子、有田秀子、井川順子	医学書院	2017年	2,900円	
	看護技術が見えるvol. 1 基礎看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	2014年	3,000円	
参考書	新体系看護学全書基礎看護技術I	深井喜代子編	メヂカルフレンド社	2014年	3,100円	
その他の資料	授業資料					

評価方法

筆記試験(80%)

レポート・授業終了後のミニレポート(20%)

履修上の留意点

1. この科目は看護技術演習Iと連動した授業となるため、必ず出席すること。
2. 各単元では解剖・生理学の知識も活用するため、授業前に単元の理解に必要な解剖・生理学を復習して授業に臨むことで理解が深まる。
3. この科目は基礎看護学実習IIを履修するにあたっての前提科目となる。

オフィスアワー・連絡先

月・木曜日 18:30~19:30, K507研究室, E-mail: ishizuka@nuhw.a.jp